

国際通貨研究所(IIMA) ワークショップ
『アジア地域通貨安定のためのフレームワーク
~Framework for Regional Monetary Stabilization(FRMS) ~』
(2000年7月7日開催、於東京)

議長声明

非営利の民間シンクタンク、財団法人国際通貨研究所は「アジア地域における通貨安定のためのフレームワーク(FRMS)の構想を如何に実現するか」をテーマに7月7日にワークショップを開催した。ワークショップの参加者は別紙のとおりであるが、彼らは所属機関の代表としてではなく、一個人として自発的にワークショップに参加したアジア各国のシンクタンク、大学、政府系機関、政府、世界銀行、IMFなどの専門家達である。ワークショップの議長は(財)国際通貨研究所理事長である行天豊雄が務めた。

ワークショップでは、以下の点について共通の理解を確認した。

ワークショップ参加者は、2000年5月6日にASEAN諸国と中国、韓国、日本(いわゆるASEAN+3)の蔵相により合意されたチェンマイ・イニシアチブを、東アジアにおける金融協力を進める上での重要な第一歩として歓迎した。また、同参加者は、地域内の21世紀型の金融危機を予防、解決するために、ASEAN+3はチェンマイ・イニシアチブに基づく政策対話、金融協力を強化すべきであることを確認した。

ワークショップでは、FRMSの機能、業務、組織に関して幅広い考え方が示されたが、今後FRMSについてASEAN+3各国の民間セクターも更に議論を深め、地域通貨安定のために官・民による対話を促進すべきであることで意見が一致した。

(財)国際通貨研究所は、ASEAN+3のシンクタンクやその他の機関の専門家と協力しながらこれらの問題について引き続き議論を深め、地域により緊密な金融協力が実現するよう支援して参りたい。

以上

財団法人 国際通貨研究所 (I I M A) ワークショップ
「アジア地域通貨安定のためのフレームワーク (FRMS)」

2000年7月7日(金) 13:00~17:10

(参加者リスト)

I M F 調査局 アシスタント・ディレクター	チャールズ・アダムズ
アジア太平洋大学 教授	ヘスス・P・エスタニスラオ
日本銀行 金融市場局兼国際局審議役	小山 高史
慶応義塾大学 教授	嘉治 佐保子
世界銀行 東アジア太平洋地域担当チーフ・エコノミスト	河合 正弘
野村総合研究所 シニア・エコノミスト	関 志雄
通産省 情報処理システム開発課課長	岸本 周平
大阪大学大学院 国際公共政策研究科教授	高阪 章
I M F アジア太平洋地域事務所所長	斉藤 国雄
立命館大学 教授	佐久間 潮
プラセティア・ムルヤ大学院 (インドネシア) 理事	ジスマン・S・シマンジュンタク
タイ開発研究所 理事長	チャランポップ・スサンカーン
中国社会科学院 世界経済・政策研究所 国際金融センター主任	ジー・ソン
さくら総合研究所 環太平洋研究センター主任研究員	高安 健一
I M F アジア太平洋地域事務所次長	ディヴィッド・C・ネラー
世界銀行 東京事務所 プリンシパル・エコノミスト	ルイス・A・ペレイラ・ダ・シルヴァ

バンクネガラ（マレーシア）
国際局シニア・マネジャー

マジダ・アブドル・マリク

外務省 経済局開発途上地域課長

宮川 眞喜雄

京都大学 教授

村瀬 哲司

アジア開発銀行研究所 所長

吉富 勝

韓国対外経済政策院 国際巨視金融室室長

王 允鍾

（以上敬称略、五十音順）

国際通貨研究所 理事長

行天 豊雄

国際通貨研究所 専務理事

浅見 唯弘

国際通貨研究所 顧問

吉村 英一

国際通貨研究所 調査部長兼主任研究員

荒井 耕一郎

国際通貨研究所 総務部長兼主任研究員

森 純一

国際通貨研究所 調査部次長兼主任研究員

三浦 潔

国際通貨研究所 主任研究員

吉田 頼且

国際通貨研究所 主任研究員

結川 直良

国際通貨研究所 主任研究員

平松 拓

国際通貨研究所 上席研究員

田中 和子

国際通貨研究所 研究員

糠谷 英輝